

2022年2月10日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町二丁目1番地
会社名 そせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO
田村真一
問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー部
西下進一郎
電話番号 03-5210-3290 (代表)

無形資産の減損、条件付対価評価損および 医薬品の販売に関連する収入の計上に関するお知らせ

当社グループは2021年12月期において下記の通り、無形資産の減損、条件付対価評価損の増加および契約一時金を計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 各項目の内容

(1) 無形資産の減損

昨年11月22日に発表した新規ムスカリン受容体作動薬に関するニューロクライン社とのライセンス契約締結により導出した化合物のうち、M1受容体作動薬について同社はHTL9936やHTL18318ではなく、より新しい次世代の化合物の開発を優先する予定であり、現時点では当該2品目の開発を行う可能性が低いことが判明しました。そのため保守的にみて、当該2品目にかかる無形資産の全額にあたる3,064百万円を会計上の損失(非現金)として減損いたしました。なお、次世代のM1受容体作動薬はより新しい知見に基づく、より長い特許期間を持った化合物であり、開発は順調に進展しております。パートナーであるニューロクライン社が開発を順調に進めた場合、ライセンス契約時のリリースに記載の通り2023年に臨床試験が開始される可能性があります。また、当該パイプラインを全額減損したことで、今後の当社の減損リスクは一定以上に低減されたと考えています。

(2) 条件付対価評価損

上述のニューロクライン社とのライセンス契約締結により、当社グループは2021年12月に契約一時金100百万米ドルを同社から受領しましたが、それに伴い、当社子会社であるHeptares Therapeutics Ltd.の旧株主からの株式取得時の契約上の条件付対価の支払いを金融費用2,891百万円として計上いたしました。なお、この条件付対価の主たるものは2021年末をもって期限を迎えたため、今後の負担はかなり限定的なものとなります。

PRESS RELEASE

(3) 医薬品の販売に関連する収入

医薬品の販売に係る損失補填金の支払いにより、2021年12月期第3四半期において売上収益の500百万円の戻入を計上しましたが、当該リリースでご案内の通り、本件に関連する収入450百万円を2021年12月期第4四半期に売上収益として計上しました。

2. 業績に与える影響

上記の無形資産の減損、条件付対価評価損および医薬品の販売に関連する収入は、本日公表の「2021年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

以上

Sosei Heptares について

当社グループは、Gタンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR®技術並びに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオハイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそーせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そーせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR®は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](#)

Twitter: [@soseiheptaresco](#)

YouTube: [@soseiheptaresco](#)